

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 安全で快適な住宅地の整備

施策コード 5060401

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 都市計画課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第4節 住宅
	施策	安全で快適な住宅地の整備	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・該当建築物へ戸別訪問等により耐震改修補助制度等の周知を徹底します。 ・空き家バンク制度を活用し、建物の流通を促すことで空家等の抑制に努めます。 ・特定空家等の解消や特定空家等にならないよう除却補助や特定空家等の寄付受け制度等を実施します。 			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅所有者への耐震改修費用の負担に課題があります。 ・空家等所有者の不明等による所有者の確知が必要です。 			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
市民			
意図(どのような状態にしたいのか)			
防災性向上のため老朽住宅の除去や既存住宅の耐震改修を促進し、安全で快適に生活できるようにします。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	40.6						
重要度(偏差値)	52.2						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H30決算	R元決算					
コストの内訳	人件費	千円	10,588	10,113				
	事業費		71,890	113,402				
	フルコスト		82,478	123,515				
財源内訳	国庫支出金	千円	14,274	44,587				
	府支出金		3,236	2,743				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		64,968	76,185				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		54,380	66,072				

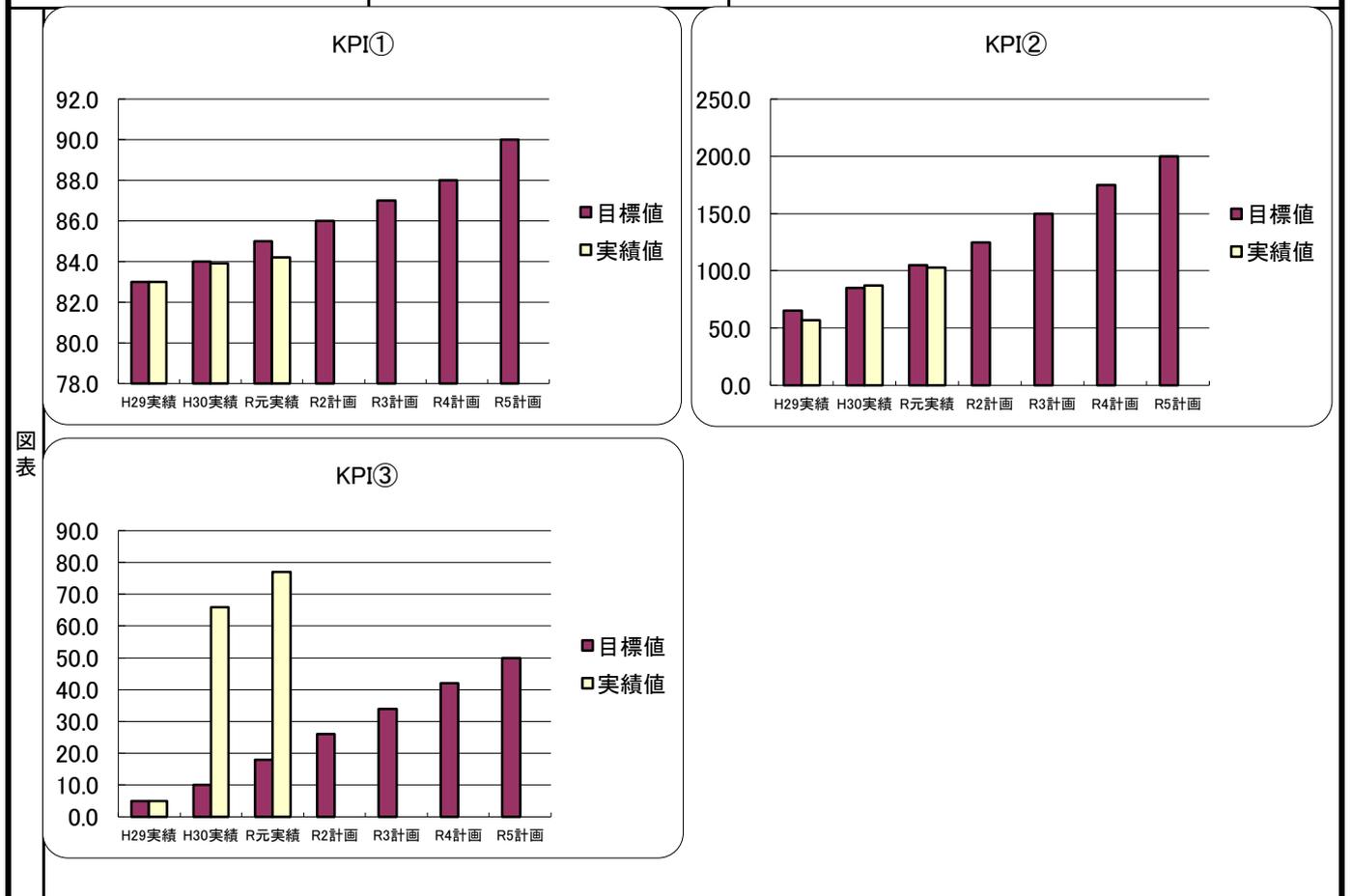
5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		民間建築物の耐震化率					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	83.0	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0	90.0
実績値	83.0	83.9	84.2				
達成度	100.0	99.88	99.06				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
民間建築物の耐震化率の向上により、市域の安全で良好な住宅地の整備状況が分かります。		毎年約1%程度の耐震化率の向上を目標とします。			耐震化率は年々向上しており、概ね順調に推移している。		

② KPI 2		空き家バンクへの登録物件数（累計）					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	65.0	85.0	105.0	125.0	150.0	175.0	200.0
実績値	57.0	87.0	103.0				
達成度	87.69	102.35	98.1				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
空き家解消の指標として、登録により建物流通の促進の目安となる空き家バンクへの登録物件数（累計）を指標としました。	年間約20～25件の空き家バンクの登録を目標設定としました。	対前年比減については、前年度実績が目標値より実績が大きく上回ったため。経過としては順調に推移している。

③ KPI 3		管理不全な空家等に対して行った助言・指導等により改善又は除却された空家等件数（累計）					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	5.0	10.0	18.0	26.0	34.0	42.0	50.0
実績値	5.0	66.0	77.0				
達成度	100.0	660.0	427.78				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
空き家解消の指標として、助言・指導により改善又は除却された空家件数を指標としました。	空家除却を継続して進める目標設定としました。	対前年比減については、前年度実績が目標値より実績が大きく上回ったため。経過としては目標以上に順調に推移している。



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	除却件数は、他市と比較しても多くなっており、目標数に向け順調に推移している。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	アンケートの前回調査と比較して、重要度・満足度ともに変化はなく、空家の除却や耐震化の向上により、安全な住宅地の整備を、目に見える効果としてを示していきたい。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	既存建築物の耐震化や空家住宅の解消による住宅地の更新を促進することが望まれている。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	耐震化率を高めるべく、耐震改修促進計画の改定をはじめ、耐震上不可欠な民間建築物の補助等、定住・移住促進等施策メニュー（民間建築物部門）の拡充と充実を図っていく。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）	B	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価（理事者による評価）	B	引き続き目標値の達成に努めること。 補助制度の周知を図ること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01040640	既存建築物耐震化推進事業	1,685	70,276	33,099	0	A
2	01083228	特定空家対策事業	8,428	43,126	32,973	0	A
合計			10,113	113,402	66,072	0	